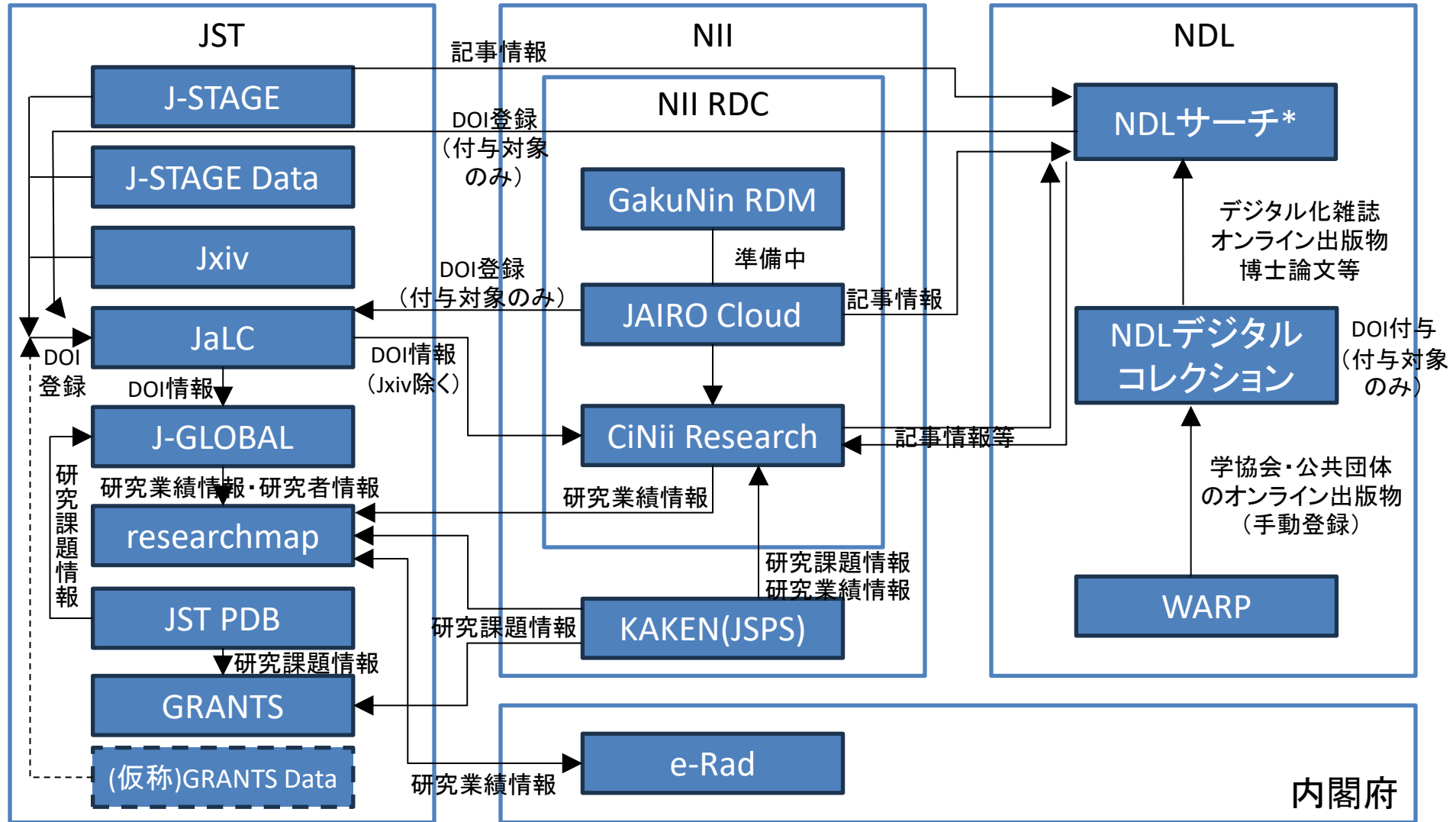


即時OA方針への対応や課題の共通点や相違点

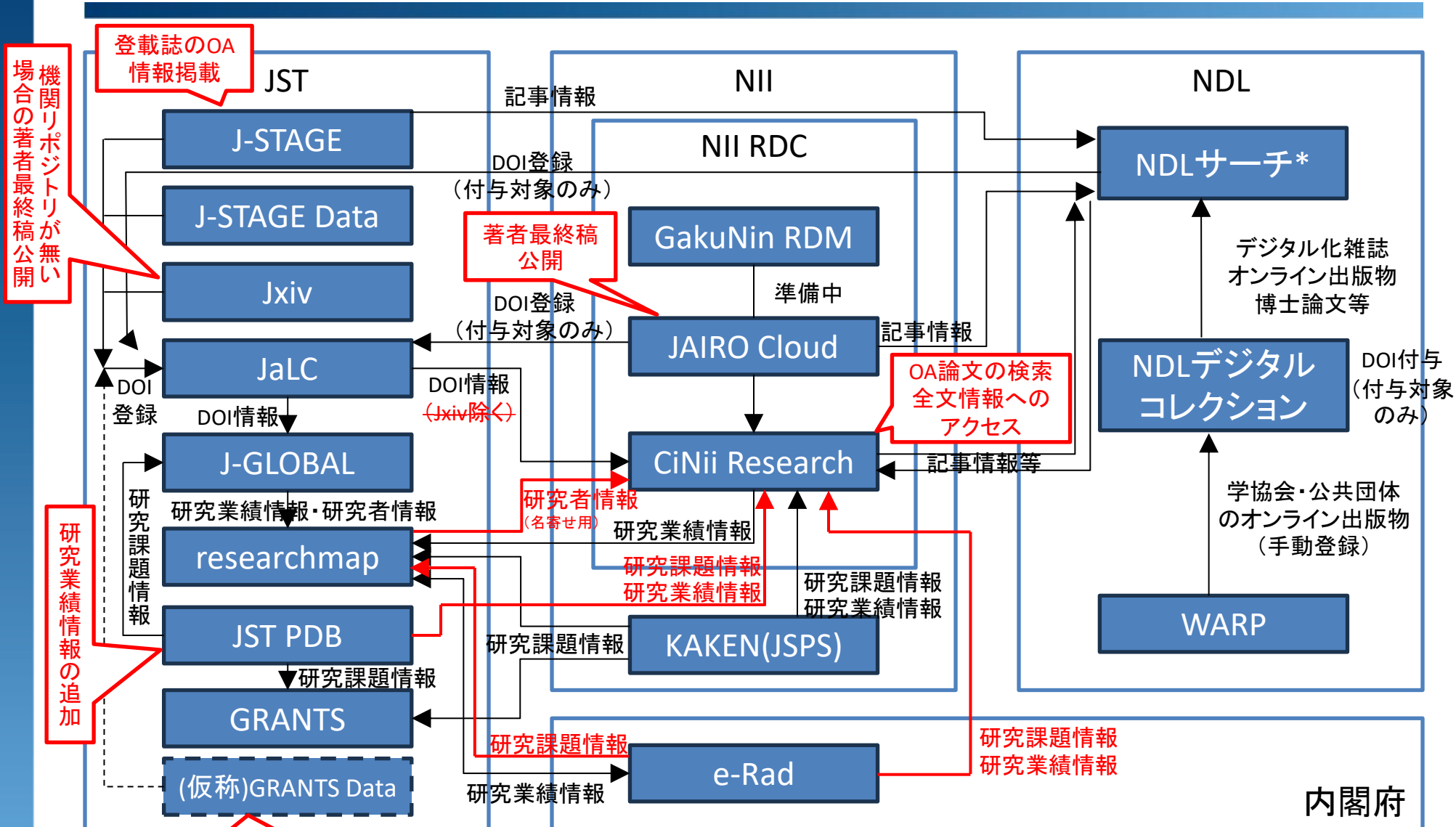
即時OA方針	共通点	相違点
対応	<ul style="list-style-type: none">論文のOA状況の明示(J-STAGE)、論文およびデータをOAで公開(JAIRO Cloud、Jxiv、J-STAGE Data)著者や所属機関のOA対応状況を表示(researchmap、CiNii Research(モニタリング機能))ジャーナルのアーカイビングポリシーの表示(JAIRO Cloud(OAアシスト機能)、J-STAGE)	なし
課題	<ul style="list-style-type: none">機関リポジトリ等の情報基盤への掲載が困難な研究者の対応ジャーナルのアーカイビングポリシーの調査方法:公開されているデータベースはあるものの、人力での調査が必要になっている即時OA対応状況の把握(各システムにおいてどの時点で何の対応状況を把握するかは異なる(例:J-STAGE:ジャーナル、researchmap:論文、CiNii Research:論文・根拠データ))メタデータを最初に入力するシステムと、最終的に網羅的に収集するシステムが複数存在する(なお、JaLCは即時OA状況把握のために「統制された機械可読情報の入力」を求めている)	なし

現状の連携状況



* オンラインISSN書誌のデータをCiNii Researchに提供している。

即時OA化のデータフロー(案)



機関リポジトリが無い場合の根拠データ公開

・赤い矢印線は今後追加すべき連携
 ・赤い吹き出しは即時オープンアクセス化で各サービス・システムが担う内容

* オンラインISSN書誌のデータをCiNii Researchに提供している。

即時OA対象の流通にあたって必要な内容

即時OA対象の流通に必要なメタデータ

(論文の場合)

- 論文表題
- 著者名(著者識別子)
- 論文の出版版のDOI
- 掲載誌名 ※出版社DOIが付与されていないケースを想定
- 年 ※出版社DOIが付与されていないケースを想定
- 助成情報(体系的課題番号等)
- (Green OAの場合)論文の「機関リポジトリ等の情報基盤」のランディングページへのURL等の識別子
- (Green OAの場合)根拠データの「機関リポジトリ等の情報基盤」のランディングページへのURL等の識別子

(研究データ単体の場合)

- 「公的資金による研究データの管理・利活用に関する基本的な考え方」におけるメタデータの共通項目の必須項目 (https://www8.cao.go.jp/cstp/common_metadata_elements.pdf)

データフロー(案)を踏まえて

即時OA化にともない3機関で何を担うのか

- NII
 - 大学等の即時グリーンOAを支援する(JAIRO Cloudの提供、OAアシスト機能やGakuNin RDM連携等の付加機能の提供、学認の整備)
 - CiNii Researchで日本の即時OA論文のメタデータを網羅的に収集、一元的に集約し、一般に検索可能にするとともに、国際的に流通させる
 - KAKENで科研費の課題情報、成果報告、研究者情報を網羅的に収集し、一般に検索可能にする
- JST
 - 日本のジャーナル掲載論文、当該論文の根拠データやプレプリントの公開環境提供(J-STAGE、J-STAGE Data、Jxivの提供)
 - 研究者情報の公開環境提供(researchmapの提供)
 - 機関リポジトリを持たない研究者へのリポジトリ提供((仮称)GRANTS Dataの提供)
 - JSTの支援する研究課題情報の提供(JSTプロジェクトデータベースの提供)
 - (JaLC運営4機関の実務を担う形で)DOIの登録と流通(JaLCの提供)
- NDL
 - 公的機関のウェブサイトに掲載された論文を含む資料の収集・整理・長期アクセス保証
 - あらゆる時代のジャーナル論文等の一元的な検索環境の提供